



平成 26 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」

明治大学女性研究者研究活動支援事業推進本部「MUGED」

## C O N T E N T S

## ≫ 推進本部代表挨拶——本事業の取組と今後の課題について…………… 1

## ≫ 「明治大学男女共同参画推進基本計画」を策定しました…………… 1

## ≫ 活動報告…………… 2

### ▶ 総括シンポジウム 「Life Sharing ～共に前へ～」を開催しました

### ▶ 和泉図書館にて企画展 「明治大学の男女共同参画」を開催しました

### ▶ メンタリングランチ会を開催しました

### ▶ 院生交流会「ミズキの会」発足！

## ≫ 明治大学女性研究者研究活動支援事業推進本部の取組まとめ…………… 3

## ≫ 推進本部代表挨拶——本事業の取組と今後の課題について

男女共同参画推進センター女性研究者研究活動支援事業推進本部代表  
男女共同参画推進センター副センター長  
辻村 みよ子

平成26年度「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」に採択された後、事業期間が瞬く間にすぎ、早くも最終段階を迎えることとなりました。

約2年半の間、女性研究者の比率向上だけでなく、本学の全学的な男女共同参画を推進し、ワーク・ライフ・バランスの取れた教育・研究・職場環境を作り上げることを目指して、多様な取組をしてきました。

皆様のご理解とご尽力のおかげで、男女共同参画推進センター、女性研究者研究活動支援事業推進本部と生田分室の開設等の環境整備、両立支援制度の実施など、男女共同参画推進の基盤を構築することができました。とくに、両立支援制度では、研究補助者の派遣が必要な研究者へ研究補助者を派遣するサイエンス・サポーター制度の構築、病児・病後児や夜間保育を含めた保育費用補助制度、研究者のメンター制度など、多くの成果を得ることができました。

さらにキックオフシンポジウム（2015年3月8日）、学術分野の男女共同参画に関する国際シンポジウム（同年11月7-8日）、総括シンポジウム（2016年12月8日）を開催したことによって、それぞれ学内外の多くの機関や研究者とネットワークを作ることができたと思います。総括シンポジウムでは本事業の成果報告に加え、2016年12月に新たに策定された「明治大学男女共同参画推進基本計画」を発表することができ、これまでの取組の成果を示すことができました。

これからも、男女共同参画を一層進めて、男性教職員を含め、すべての明治大学の構成員に「男女共同参画っていいものですね」と言ってもらえるように、成果が実感できるまで、粘り強く取組を続けていかなければなりません。今後も男女共同参画推進からダイバーシティの確立に発展させつつ、一丸となって進んでいきたいと思ひます。

これまでお世話になりましたすべての方々にご心よりのお礼を申し上げますとともに、これからの取組についても、ご協力とご支援をたまわれますよう、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ≫ 「明治大学男女共同参画推進基本計画」を策定しました

明治大学は、創立以来、「権利自由」・「独立自治」を建学の精神とすることで、これまで多様な人材を育成し、文化の発展と人類の福祉に貢献してきました。また、女性の社会進出を支えるための高等教育の道を拓き、その結果、日本初の女性弁護士、裁判官及び高等裁判所長官を輩出する等、男女共同参画を早くから体現しています。

男女共同参画社会基本法では、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を最重要課題として位置付けています。また、女性活躍推進法では、女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境の整備を目的としています。

本学は、これら建学の精神、法令、校規等に基づき、「明治大学男女共同参画推進基本計画」を策定いたしました。この基本計画は2016年度から2019年度まで実施され、次の基本方針の下、具体的な行動計画を策定しております。

- ① 男女共同参画を促進するための教育・研究体制の構築
- ② ワーク・ライフ・バランスの積極的な推進
- ③ 意識改革と理解の促進
- ④ 次世代の女性研究者育成
- ⑤ 意思決定過程における女性リーダーの養成
- ⑥ 地域社会等との連携
- ⑦ 国際化への対応

## 総括シンポジウム「Life Sharing ～共に前へ～」を開催しました

- 主催** 明治大学男女共同参画推進センター女性研究者研究活動支援事業推進本部
- 共催** 明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター  
明治大学法科大学院ジェンダー法センター
- 開催日** 2016年12月8日(木)  
【第1部】14:00～17:00 【第2部】17:30～19:15
- 開催場所** 明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント  
【第1部】1階 多目的室 【第2部】1階 グローバルホール



平成26年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の採択を受けて設置された推進本部の3年間の取組の成果が紹介されました。第1部では、研究者のライフイベント（出産・育児・介護）と研究の両立を支援する「サイエンス・サポーター制度」について、利用者である3名の研究者がそれぞれ報告しました。推進本部生田分室長を交えた意見交換会では、今後の運用にかかわる課題も共有されました。第2部では、学長挨拶に始まり、来賓挨拶として岩田喜美枝氏（公益財団法人21世紀職業財団会長、内閣府男女共同参画会

議員）より働き方改革やポジティブアクションの重要性についてお話があり、また国立研究開発法人科学技術振興機構プログラム主管の山村康子氏より大学における女性研究者の現状と今後の動向について紹介されました。さらに、推進本部代表の辻村みよ子法科大学院教授が3年目を迎えた本事業の成果を報告しました。続いて男女共同参画推進センター長の浜本牧子副学長（男女共同参画・障がい者少数者支援担当）による、「明治大学男女共同参画推進基本計画」（12月1日施行）の紹介などがあり、シンポジウムは盛会のうちに終了しました。

## 和泉図書館にて企画展「明治大学の男女共同参画」を開催しました

- 開催日時** 2016年12月13日(火)～2017年1月18日(水)
- 開催場所** 和泉図書館ギャラリー・和泉図書館内特設本コーナー

和泉図書館ギャラリーにて、本事業の周知と、本学および地域社会における男女共同参画推進を目的として、男女共同参画に関する図書の展示、本事業の紹介ポスターの展示、ロールモデル集等の配布を行いました。併せて資料映像「女性法曹界の道を拓いた人々ー明治大学専門部女子部の足跡ー」の上映を実施しました（情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター協力）。また和泉図書館内部の特設本コーナーでは、男女共同参画、ジェンダー、ワーク・ライフ・バランス等に関する図書を集集し、貸出を実施しました。図書は本学のみならず地域の方にも貸出を行い、多くの方に興味を持っていただきました。



## メンタリングランチ会を開催しました

- 開催日時** 2016年11月29日(火) 13:00～14:00
- 開催場所** 明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント2階4021教室（事前予約制）

女性研究者研究活動支援事業の取組の一環として、先輩研究者への相談等の機会を提供する「メンタリングランチ会」を開催しました。細野はるみ情報コミュニケーション学部教授をメンターとし、教員、ポスドク、大学院生等の研究者でワーク・ライフ・バランスに興味がある方を対象に、研究と日常生活とのバランスのよい両立についてグループメンタリングランチ会を行いました。

### 参加者のコメント

- 参加者同士の交流が生まれていった点が、一方通行でなくてよかった
- 他学部・研究科の方と話ができるとは新鮮だった

## 院生交流会「ミズキの会」発足！

- 開催日時** 【第1回】2016年11月17日(木) 12:10～12:55 【第2回】2016年12月21日(水) 12:10～13:30
- 開催場所** 明治大学生田キャンパス

「院生同士の横のつながりがほしい！」という声から発足した院生交流会「ミズキの会」。本学大学院生を対象に、キャンパス内ネットワークの地盤作り、視野拡大や充実した研究生活につなげることを目的として、ランチタイムを利用し交流会を開催しました。交流会では毎回テーマを設け、研究生活の中での悩みや将来についてなどを話し合いました。

### 参加者のコメント

- 「普段関わりのない他研究室の院生と話すことで、視野が広がり、研究に対するモチベーションが向上しました！」

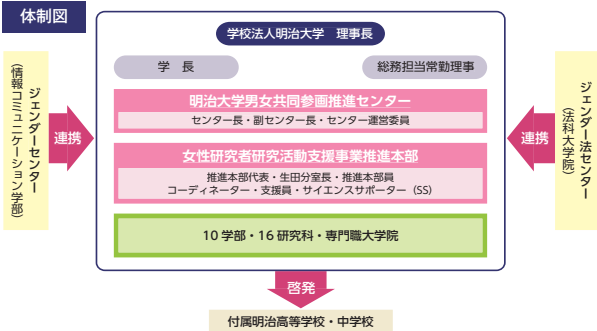
### 会の名前の由来は…

「生田キャンパスがある川崎市多摩区の木がハナミズキであること」や「花言葉が永続性であること」から会の名前を「ミズキの会」と命名しました。

# 明治大学女性研究者研究活動支援事業推進本部の取組まとめ

理系分野をはじめ、本学全体で大学院の女子学生・女性研究者を増やし、トップクラスの研究者を養成するとともに、男女共同参画を一層推進するため、女性研究者研究活動支援体制を構築し、働きやすく学びやすい環境の整備を行いました。

## 体制図



## 女性研究者在職比率・採用比率

	目標値	2014 年度	2015 年度	2016 年度
女性研究者在職比率	20.0%	16.9%	18.2%	18.9%
理系女性研究者在職比率	15.0%	9.7%	9.9%	10.3%
	目標値	2014 年度	2015 年度	2016 年度
女性研究者採用比率	25.0%	27.4%	28.9%	33.0%
理系女性研究者採用比率	30.0%	17.3%	8.8%	20.7%

※2016 年度の数値は 2016 年 5 月 1 日時点、  
その他の数値は該当年度 3 月 31 日時点のもの



## 主な活動内容

### 両立支援体制・制度

- 女性研究者研究活動支援事業推進本部設置  
一駿河台キャンパスに推進本部設置、生田キャンパスに分室設置
- 研究活動の支援を必要とする研究者に研究補助員を派遣する「サイエンス・サポーター制度」実施
- 育児と研究の両立を支援する「保育費用補助制度」実施
- 研究者のキャリア形成とライフイベントの両立等に関するメンタリングの機会を提供する「メンター制度」実施



### 環境整備

- 乳幼児を持つ女性教職員、女子学生への両立支援の取組として搾乳スペースを提供
- 育児・介護・キャリアアップ・ジェンダー等に関する図書を貸出
- オムツ交換台とベビーチェアを全キャンパスに整備 (自主経費)



### 情報発信

- 研究者を目指す学生へ具体的なビジョンを描いてもらうために「ロールモデル集」発行 (vol.1 ~ 4)
- 本事業の取組を学内に広く周知するために「ニュースレター」発行 (vol.1 ~ 3)
- ホームページ作成



### 意識啓発・次世代育成

- 男女共同参画をテーマにしたシンポジウムやセミナー開催  
ーキックオフシンポジウム  
「前へ！ 明治大学の男女共同参画」  
国際シンポジウム  
「学術分野の男女共同参画と多様性」  
総括シンポジウム  
「Life Sharing ~共に前へ~」  
ー女性研究者の裾野拡大、男女共同参画についての理解促進等を目的とし、ランチョンセミナー開催
- 愛称「MUGED」とロゴを公募により決定
- 内閣府男女共同参画週間にあわせ啓発ポスターを公募し全キャンパスで掲示



### 研究者のネットワーク構築・地域貢献

- 駿河台・生田・中野キャンパスで研究者 (男女共に)、大学院生を対象としたランチ交流会を実施
- 明治大学リバティアカデミー 2016 年度春期オープン講座にて、「やさしく学ぶ『男女共同参画』」開催
- 図書館にて本事業のポスター、図書展示
- 千代田区男女共同参画イベント「MIW 祭り」へ参加



### 意識調査

- 男女共同参画および本事業に関する意識調査を計 3 回実施  
ー 2015 年 2 月実施「男女共同参画および女性研究者支援に関するアンケート調査」  
ー 2016 年 1 月実施「女性研究者研究活動支援事業の認知度および男女共同参画推進に関する調査」  
ー 2016 年 10 月実施「男女共同参画および女性支援に関する意識調査」

